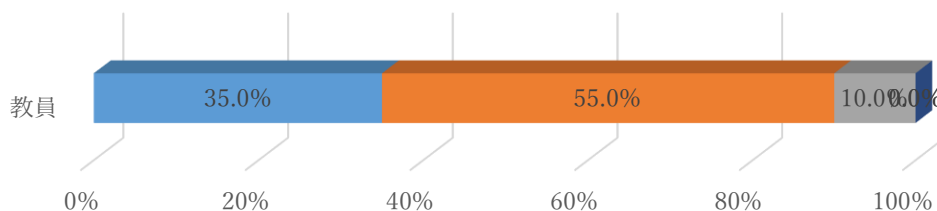
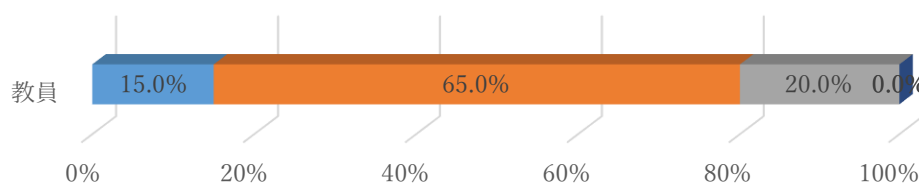


令和6年度 Ⅰ学期 学年担任制アンケート結果（教師）

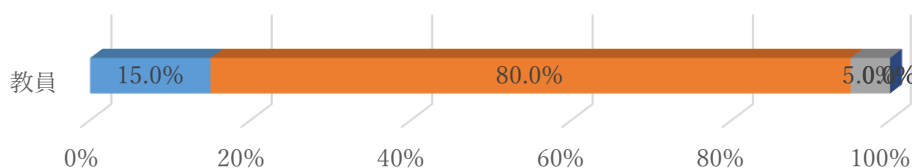
1 学年担任制をすることで、いろいろな生徒と話す場面（機会）が増えたと思いますか。



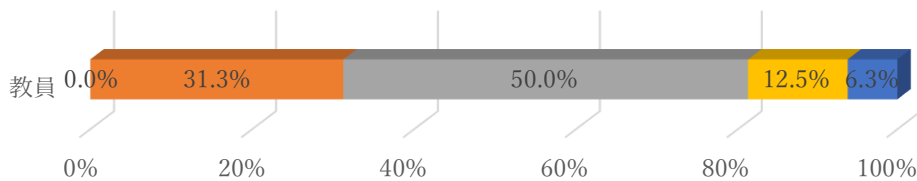
2 日々の連絡や注意事項、生徒指導面での情報共有はしっかりとできていると思いますか。



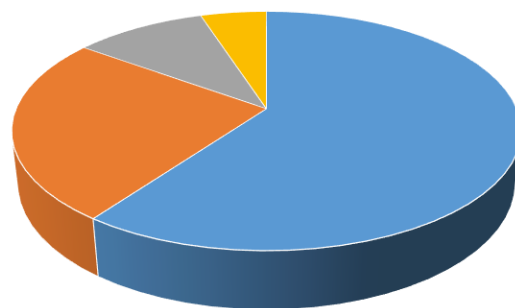
3 学年担任制を通して、多くの先生から考え方や価値観にふれることは、中学生年代の生徒の成長に役立っていると思いますか。



4 昨年度と比較して、仕事の量やストレスが減ったと思いますか。



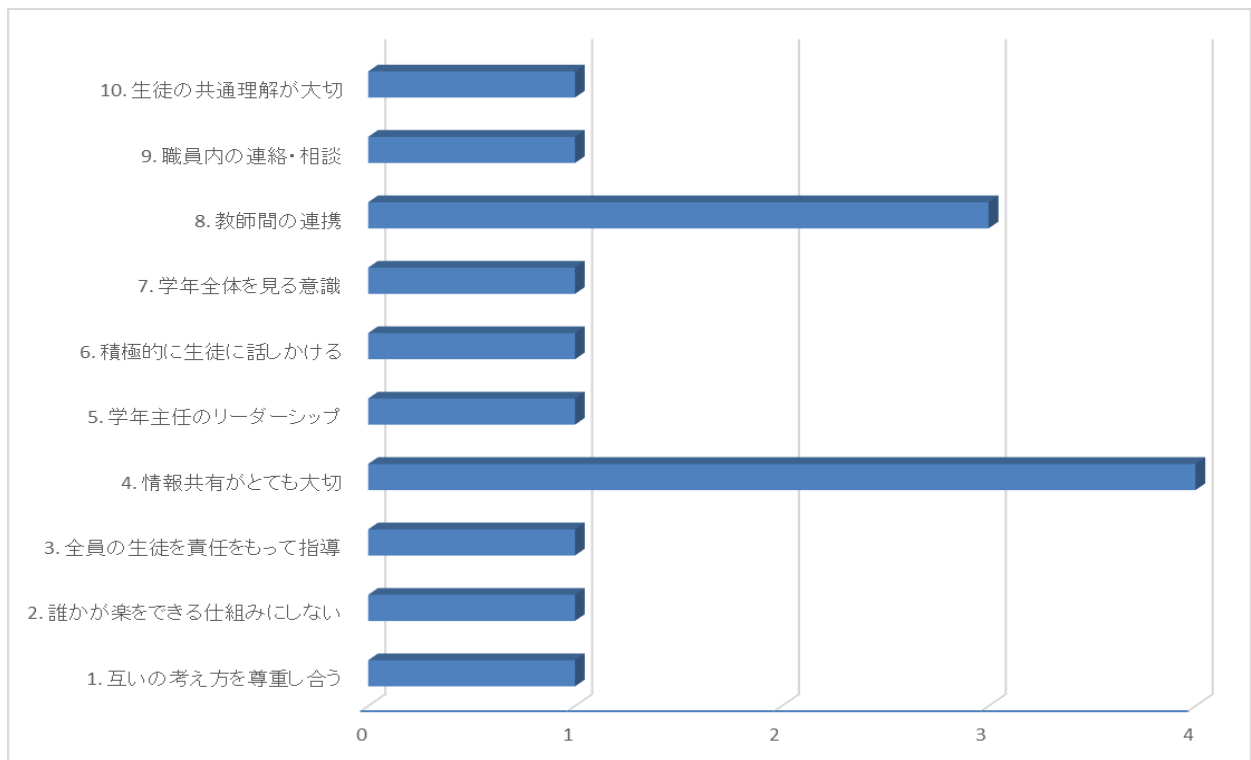
5 固定担任制と比較して、学年担任制の強みだと思うことは何ですか。



■ 生徒の多面的な理解 ■ 学校運営のリスク軽減 ■ 職員の負担軽減 ■ その他

6 学年担任制を続けていく際に、最も重要だと思うことは何ですか。(キーワード集計)





7. 学年担任制を通して、良かった点やご苦労された点

- ・良かった点は、全学級の生徒にあらゆる目が届きやすくなったこと。また若年層の教員が増えたなか、リスク軽減につながったこと。苦労した点は、学年主任の仕事に加え、本来学級担任が担っていたこまごました業務が増え、負担がかなり増えたこと。生徒の情報の抜けがないように、常に気を張っていないといけないこと。(担当が変わると、情報共有に抜けが起こりやすい。授業数が多い場合は、かなり大変かもしれません。)
- ・学年のどの先生にも相談できる環境は生徒にとって相談できる大人が増えるという点でとても心のよりどころになると思います。
- ・生徒の深い実態把握が難しいなと思います。全員で建設的な意見交換をしながら学年担任制を進めていかないと、ローテーションに入る先生の気持ちが汲み上げられないシステムになってしまうと思います。
- ・責任感を持たない教師がいる。
- ・保健室運営の面から言えば、健康診断の生徒への連絡などが徹底されにくい。
- ・自分が担任になった際に、ほかの先生は違うことを言っていたと言われたときに戸惑ってしまうことが多々ありました。(具体的な内容は忘れましたが)
- ・「その時担当する学級の生徒を見る」のではなく、「学年全体を見る」という気持ち。常に学年の先生が生徒の情報を交換しようとする意識。メリットだけでなくデメリットにも目を向け、改善しようとすることを試行錯誤しています。
- ・多くの子どもと話す機会が増える。
- ・業務軽減・ストレス軽減
- ・司令塔としての気苦労
- ・他の先生に自分が担当していた学級に入っていたときに、気が付けなかったことや気を回すべきだったことについて教えていただけてありがたいです。学級経営の中で、ここは自分が大切にしたいところだからルールを決めて取り組みたいなというところもありますが、自分の判断だけでできないところに難しさを感じることもあります。
- ・成績などで記入する所見などが同じ学級の生徒でも、所見入力を担当する教員で内容が変わってくるのではないかと。学年に初任者や生徒指導が苦手な教員が多いと学級風土や生徒指導が大変になる可能性がある。
- ・よかった点⇒授業だけでなく、学級の雰囲気わかる。苦労されている点⇒全クラス共有していないといけないところ。
- ・情報共有の仕方の工夫がもっと必要かと感じる時がある。